

昭和57年度 和歌山県文化奨励賞

ありもと ひろし
有 本 弘

住 所：和歌山県御坊市
出 身 地：和歌山県有田郡湯浅町
生 年：昭和6年

◎業績及び経歴

昭和24年、和歌山師範学校在学中に県展に初入選。昭和26年、和歌山大学教育学部在学中に関西新制作展に入選した。同校卒業後、昭和30年には、関西独立展奨励賞及び独立展初入選を果たし、その後も数々の入選を重ねる。

昭和33年からは、和歌山県立日高高校で教鞭をとる傍ら創作活動も一層活発になり、昭和36年には独立美術協会会友となる。

以後、関西独立賞、独立展奨励賞、独立賞(昭和45年)を受賞、昭和46年には、現代日本美術展入選、関西独立展無鑑査となり、同47年には2回目の独立賞並びに児島善三郎記念賞(首席賞)を受け、翌48年には独立美術協会会員となる。

主な受賞歴をまとめると関西での受賞(関西独立展、全関西展)11回、中央での受賞(独立選抜展、独立展)9回、現代日本展、国際青年展等コンクール入選7回、文化庁企画現代美術選抜展1回となる。

また、県展関係では、初入選以後、奨励賞、特賞、無鑑査、無鑑査特賞、招待を経て、昭和46年から審査員(兼運営委員)となるとともに県美術家協会理事を務めている。

現在の制作研究課題は「主として対称構図の可能性を中心として」である。